

佐賀県の図書館の振興を願う会

代表 園部 節子 様

公開質問状（回答）

「佐賀県立図書館の民営化について」

県立図書館には単に資料を貸し出すだけでなく、県内の市町村立図書館ネットワークの中核として市町村立図書館では出来ない資料の収集・保存・レファレンスなど県立図書館でなければ出来ない重要な機能があります。そして、そのような継続性を必要とする県立図書館は公立で運営されるべきであると考えます。しかしながら昨今は公共性を軽視したとも受け取れる公共施設の民間委託が拡大してきております。そこでこの度の佐賀県知事選挙における投票の参考にさせていただくべく、以下について質問させていただきます。

ご多忙中誠に恐縮ですが1月3日までに文書（ファックス or メール）で、下記連絡先までご回答いただきますようお願い申し上げます。

記

1、民営化に賛成

理由

○2、民営化に反対

「理由」 医療や教育・福祉など制度資本を、市場に委ねてはなりません。制度資本は、県民が豊かな経済生活を営み、優れた文化を展開し、人間的に魅力ある地域を持続的・安定的に維持するための社会装置です。

佐賀県立図書館は、新築後50年を経過した老朽的施設であり、技術的にも利用者サービス面においても見直しの時期に来ていると考えられます。

佐賀県立図書館は、県内図書館ネットワークのコアになる施設であり、さらに国会図書館等との全国的な連携も含めて、総合的に見直し計画の中で場所・施設規模等についても検討を進めていきたいと考えています。

今後、地方自立を目指して行くためには、県民の自立した行動が不可欠です。その基盤になる社会教育施設（図書館・博物館・文書館=三館連携）も、合わせて考えていきたいと思っております。

平成27年1月1日

佐賀市柳町1番7号

佐賀県知事候補 島谷幸宏